

西小松川町、東小松川一・二丁目地区



まちづくりニュース

第6号 令和3年12月発行

まちづくり協議会による話し合いを再開しました！

西小松川町、東小松川一・二丁目地区まちづくり協議会（以下、協議会）は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面による開催を見送っておりましたが、先月、第5回協議会として約1年ぶりに再開しました。

今後も感染状況を見ながら活動を進めていきます。

【第5回協議会 開催概要】

開催日：11月11日（木）、12日（金）

- 内 容：
- ・アンケート調査の結果
 - ・今後の協議会の進め方
 - ・災害時の避難や円滑な消防活動に必要となる道路について意見交換



お問い合わせ

※このお知らせは西小松川町、東小松川一・二丁目にお住まいの方々や権利をお持ちの方々にお配りしています。

江戸川区 都市開発部 まちづくり調整課 まちづくり計画係

TEL 03-5662-6438 (直通) FAX 03-5607-2267



アンケート結果のご報告

第3回協議会までに話し合った「まちの良い点や課題」について地域の皆さまと共有すると共に、協議会で出された意見以外に「良い点や課題」があるかを把握するため、10月にアンケート調査を実施させていただきました。

紙面の都合上、ここでは多くの回答が集まった選択肢についてご紹介します。区ホームページ（4ページ参照）では、より詳細な結果を掲載しておりますので併せてご確認ください。インターネットでの閲覧が難しい方には紙資料をお送りしますので、問い合わせ先（1ページ参照）までお電話ください。

【アンケート概要】

- 回答期間：令和3年10月18日（月）～11月1日（月）
- 配布、回収方法：（配布）ポスティング、郵送（回収）郵送またはWEB
- 配布対象及び配布票数：西小松川町、東小松川一・二丁目にお住まいの方、土地・建物の権利をお持ちの方 3,779票
- 回答票数：736票（回答率19.5%）
- 調査内容：協議会であげられた約60個の「まちの良い点や課題」の中から、「当てはまると思う」ものをすべて選んでいただきました。以下の%は、回答票数736に対して選んでいただいた割合を表します。

良い点

親水公園は地域の憩いの場として定着し、子供からお年寄りまで高い利用頻度である。	71.5%
水やみどりを身近に感じる住環境が形成されている。	61.4%
地形が平坦で移動しやすく、落ち着いた住みやすい住宅地が形成されている。	57.7%

居住環境・活性化に関する課題

店舗が建ち並んでいた今井街道の商店街がシャッター通りとなっている。	70.7%
場所によっては土地が細分化しており、建物の密集や老朽化が見られる。	65.4%
日常の買い物は対象地区外に依存し身近な場所での店舗が不足している。	48.6%

防犯・コミュニティに関する課題

若い人が住み始めているが日中は外出しており町会等への参加が少ない状況である。	40.4%
防犯カメラの設置のみでは行き届かない空き巣や見知らぬ人の声かけが発生している。	28.5%
お祭りで設営するやぐらなど、地域を運営するノウハウの世代継承が課題である。	27.4%

地震・火災に関する課題

消防車の進入がしにくく消火活動が困難な区域（活動困難区域）が存在している。	66.2%
防火性能が相対的に低い建物棟数が約3/4を占めるため、大規模地震時や強風時に延焼の恐れがある。	42.8%
幅員4m未満の道路や道路に十分な面さない敷地が多く、建替えが進まない恐れがある。	42.0%

水害・避難活動に関する課題

避難所の収容力の確保が必要である。	60.2%
公的な建物や構造物への避難を可能とする仕組みづくりが必要である。	54.2%
決壊や越水を防ぐ堤防の構築が必要である。	53.7%

道路に関する課題

幅員4m未満の道路が多く、救急車等の緊急車両の進入やすれ違いが困難な区間がある。	64.1%
電柱があることで道路本来の幅での通行ができず、道路が拡幅されても効果が低い。	48.8%
道路に植木や看板などが置かれることにより、通行障害や緊急車両等の通行にも支障を及ぼす恐れがある。	30.7%

交通に関する課題

船堀街道に自転車通行帯はあるが、路上駐車を避ける自転車が歩道を通行するため歩行者と錯綜する。	52.0%
住宅地内に自動車で入りにくい道路の狭さが、移動の不便さに繋がっている。	34.2%
主に京葉交差点バス停利用者と思われる路上駐輪が、特に京葉交差点南側の船堀街道歩道で顕著である。	33.8%

みどり・公園に関する課題

親水公園は見通しが悪く、防犯カメラも設置されていないため犯罪被害が懸念される。	51.9%
荒川や中川は水遊びの場であったが、コンクリート堤防や川の汚染で身近なものではなくなった。	35.7%
公園の利用状況が偏在している。（子供がよく遊ぶ公園・遊ばない公園等）	31.1%

その他主なご意見

【良い点】高い建物が無く、空が広く見える。 【居住環境】不法投棄の場となっている家や空き地がある。 【コミュニティ】防犯カメラはもっと増やしてほしい。 【火災】古い建物が多い場所は火災の心配があるので、建替え等を進める必要がある。 【避難活動】災害時にコミュニケーションがとれる体制づくりが必要である。 【交通】自転車の飛び出しや法令無視が見られる。 【道路】見通しの悪い交差点、見えにくい標識がある。 【公園】災害時に必要となるマンホールトイレや防火水槽などの整備を行ってほしい。

協議会による検討の範囲

首都圏では、東京湾北部などを震源とした大地震の発生が、高い確率で予測されています。緊急車両の通行が困難な道路や、老朽化した建物が多い当地区にとって、被害を最小限にする取り組みを進めていく必要があります。

そこで協議会では、建物を建てる時のルールや、道路・公園などの検討、地域活動の推進について話し合い、当地区の将来にわたるまちづくりに繋げていきます。

協働によるまちづくり

地震と火災に強いまちづくりを目指します。

短期 ・ 中期	建替えのルールや道路・公園などの検討、地域活動の推進				
	道路や公園などの整備				
長期	道路や公園などの維持・管理・改善	避難対策の推進	ルールに基づく建替え	まちの清掃活動、見守り活動、防災訓練などのまちづくり活動	その他住民によるまちづくり活動
将来	スーパー堤防と市街地の一体整備				

ご意見入力フォームを開設しました！

より多くの皆さまからご意見をいただくため、区ホームページに「西小松川町、東小松川一・二丁目地区まちづくりへのご意見入力フォーム」を開設しましたので、ぜひご意見をお寄せください。区ホームページでは過去のまちづくりニュースもご覧いただけます。併せてご確認ください。

検索 西小松川町 東小松川 まちづくり

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/toshikeikaku/chiki/machidukurikeikaku/nishikomatsugawa/index.html>

